

# 土砂災害警戒区域・浸水想定区域の確認

事前に風水害時の避難場所や自宅周辺の危険箇所をハザードマップで確認し、また、自分自身の避難行動を予め想定し、災害時にも慌てないようにしましょう。



ハザードマップ（市HP）

## ①自宅を見つけよう

ハザードマップ上で自宅の位置を確認し、周辺に浸水想定区域や土砂災害（特別）警戒区域などがあるか確認しましょう。



## ②避難する場所を確認しよう

避難場所にしるしを付け、自宅から避難場所までの避難経路を確認しましょう。避難場所は、風水害時と地震時で異なります。

## ③実際に避難経路を歩いてみよう

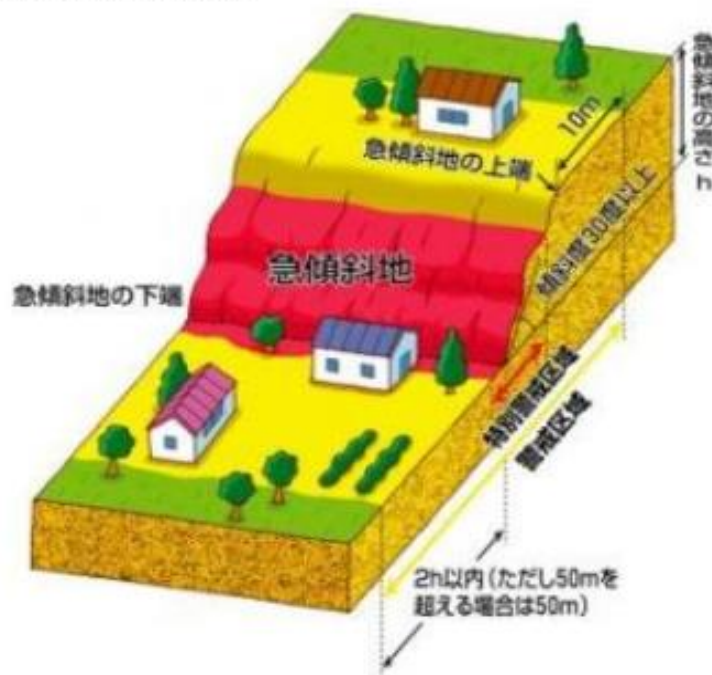
家族や近所の方と一緒に歩いて、危険な箇所がある場合は、避難経路を見直しましょう

### ●土砂災害警戒区域とは

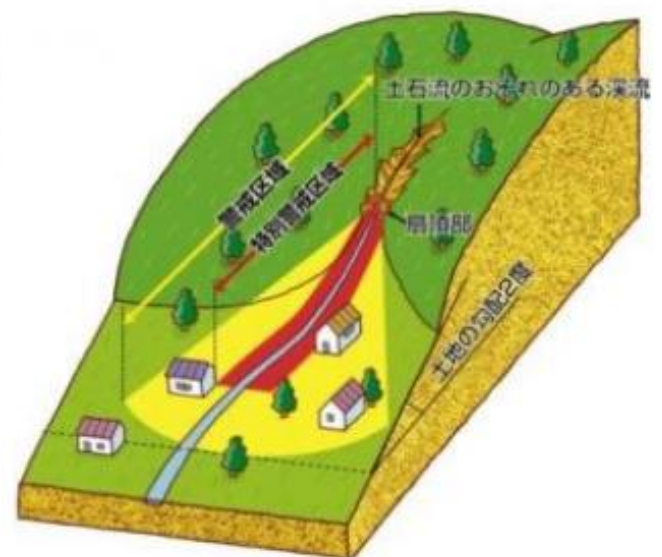
「**土砂災害警戒区域（イエローゾーン）**」は、土砂災害が発生した場合、住民等の生命・身体に危害を生ずるおそれがあると認められた土地の区域。

「**土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）**」は「土砂災害警戒区域（イエローゾーン）」のうち建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域。

### 急傾斜地の崩壊



### 土石流



図の出典：神奈川県庁ホーム > 電子県庁・県政運営・県勢 >

県土・まちづくり > 河川・ダム・発電 > 土砂災害特別警戒区域等について

●浸水想定区域とは

「河川浸水」・・・大雨などにより川の水が増えて水かさ上がり、堤防に圧力がかかります。堤防いっぱいになると、やがて堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊して勢いよく水が街に襲い掛かります。



<河川浸水想定雨量>

- ・金目川水系 総雨量 **396 mm**/日 135 分間の総雨量 240mm (107mm/時の降雨が 135 分間継続)
  - ・酒匂川水系 総雨量 **339 mm**/日 70 分間の総雨量 165mm (142mm/時の降雨が 70 分間継続)
- (四十八瀬川)



【浸水想定区域の見方】		
	浸水した場合に想定される水深	色分け
河川浸水	10.0m以上の区域	
	5.0~10.0m未満の区域	
	3.0~5.0m未満の区域	
	0.5~3.0m未満の区域	
	0.0~0.5m未満の区域	
内水浸水	1.0mを超える区域	
	0.5~1.0m以下の区域	
	0.2~0.5m以下の区域	

【浸水の深さの目安】	
5.0m	2階の軒下以上が浸水する程度
	2階の軒下まで浸水する程度
3.0m	2階の床面まで浸水する程度
0.5m	1階の床下まで浸水する程度

「内水浸水」・・・通常、街に降った雨は道路側溝や水路などにより川に排水されます。しかし、大雨により、排水先河川の水位があがったり、排水設備の雨水排水能力を超える降雨により、雨を河川等の公共の水域に放流できない場合に発生する浸水のことで。

<内水浸水想定雨量> 103 mm/時



内水浸水	1.0mを超える区域	
	0.5~1.0m以下の区域	
	0.2~0.5m以下の区域	